

1. 肝臓内科

肝臓内科部長 本村健太

2020年は、幸運なことに飯塚地区のCOVID-19発生が比較的少なく、通常診療機能が維持されたため、肝疾患診療への大きな影響はなく、昨年とほぼ同等の診療内容が継続できました。トピックとしては、手術不能肝細胞癌に対して、新しい化学療法「アテゾリズマブ・ベバシズマブ」併用療法が11月から導入できるようになったことが挙げられます。これは、癌に対する免疫反応を増強する免疫チェックポイント阻害剤と腫瘍血管新生阻害剤を組み合わせた治療法で、治験での成績が従来の分子標的薬治療を大きく上回っていたことから大変期待されている治療法です。飯塚病院肝臓内科では、いくつかの治験で免疫チェックポイント阻害剤の使用経験をすでに積んでいたこともあり、スムーズに導入できています。

1) 疾患別内訳

病名	件数	男	女	平均年齢
肝細胞癌	389	285	104	74.0
肝硬変（肝癌含む）	489	308	181	69.6
C型慢性肝炎（肝癌含む）	47	34	13	74.7
B型慢性肝炎（肝癌含む）	11	4	7	72.4
アルコール性肝障害	18	18	0	62.2
胆管癌	44	28	16	75.7
胆嚢癌	5	0	5	79.0
膵臓癌	6	5	1	76.3
胆管細胞癌（肝内胆管癌）	63	37	26	70.9
胆石症および胆道系感染症	136	80	56	72.8
肝膿瘍	16	9	7	70.9
消化管出血	13	5	8	63.6

2) 処置件数

処置	患者数
経皮的ラジオ波焼灼療法	94
肝動脈塞栓術	118
抗癌剤・リピオドール動注療法	16
肝動注化学療法	5
経皮経肝的ドレナージ術（PTCD、PTGBD）	52
腹水濃縮再静注	176
インターフェロンフリー治療新規導入	70
分子標的薬新規導入	36

総退院患者数	815人
男	505人
女	310人
急患入院数	290人
（内救急車数）	86人
予約入院数	525人
平均在科日数	13.8日
平均年齢	71歳

3) 死亡例内訳

死因	患者数
原発性肝癌	39
（肝細胞癌 34）	
（肝内胆管癌 4）	
（混合型肝癌 1）	
肝硬変（肝不全）	15
胆管癌	5
胆嚢癌	2
膵臓癌	1
急性胆嚢炎	1
B型慢性肝炎	1
その他	1
計	65